

# より「暮らしやすい磐田市！」へ 市民第一で、さらに挑戦！

任期満了に伴う磐田市長選挙で3選を果たした渡部修市長。  
「**バランスカ・総合力でナンバーワンのまち磐田**」を目指して  
3期目の市政を市長が語ります。

変えよう！磐田!!

1期目では、世界中が震撼した平成20年のリーマンショックと呼ばれる経済危機の影響が冷めやらない中、市長に就任しました。

その後、東日本大震災で大きな影響を受けた市の財政の立て直しのため、身の丈に合った市政運営に取り組もうと「変えよう！磐田!!」をスローガンに、「市民第一、現場第一、行動第一」を基本理念として事業の見直しや資産活用により借金の削減、予算規模の適正化に努めました。

力強く挑戦する磐田!!へ

2期目では、市民の幸せと希望、そして子どもたちの将来のために「力

強く挑戦する磐田!!」をスローガンに、「防災・医療・福祉・子育て・教育」の5つを充実させるべく、待機児童ゼロや市立総合病院の医師・看護師の確保に集中して取り組みました。

また、小中一貫教育の実施や広島平和記念式典への小中学生派遣、ジュビロ磐田ホームゲーム小学生一斉観戦などにも継続して取り組み、「子育て・教育なら磐田」と思ってもらえる地盤を整えてきました。

## Profile

渡部 修（わたなべ おさむ）  
昭和26年4月16日生まれ（66歳）  
平成7年旧磐田市議会議員に初当選  
以後、市議を通算4期務める  
平成21年磐田市長に就任 現在3期目





### 3期目を迎えて

1期目で種を蒔き、2期目で芽が出始めた取り組みが、今、花咲こうとしています。

3期目となるこれからの4年間に、今まで苦労して取り組んできたJR新駅の開業、新東名スマートインターの完成、な

などの取り組みが実を結ぼうとしています。これは議会を始め、市民の皆さんの日ごろの協力のおかげだと思っています。

### さらに挑戦！

これを一つやったら全ての課題が解決されるといった取り組みはありません。全てはそれまでの歩み、一つ一つの積み重ねです。少子高齢化社会を迎える中、磐田市がさらに発展していくためには、その一つ一つの取り組みを着実に進めていく必要があります。

3期目の市政運営を任せていただいた今、市民の皆さんが、より「暮らしやすい磐田市」とするため、何事にも「市民第一で、さらに挑戦」していききたいと思います。

### バランスのとれたまちに

住むまちに求めることは、人それぞれだと思います。何か一つが飛び抜けて良くても、その他が全く駄目であれば、そのまちは「暮らしやすいまち」とは言えないと思います。

私は、福祉や医療、子育て、教育などがバランス良く発展したまちなが、誰もが「暮らしやすいまち」であると考えています。1人でも多くの人に「磐田っていいな」と思ってもらえるよう、取り組んでいきたいと思っています。

### まちづくりは人づくり

何をするにも、その根幹となるのは「人」で

す。良いまちづくりのためには、良い人材が欠かせません。良い人材が集まるまちは、おのずと「暮らしやすいまち」になっていくはずですよ。

将来のために、より「暮らしやすいまち」をつくっていくには、「子育て」「教育」は特に大切だと考えています。

### カギは地域の力

豊かな生活を送ることができるようになった。今、私たちは、地域や人間同士の「つながり」を失いつつあるように感じます。

「つながり」を取り戻し、地域に暮らすみんなが地域のために活動する拠点になってほしいという思いで、「交流センター」が動き出しました。

交流センターを中心に、さまざまな年代の人が、世代の垣根を越えて交流し、それぞれの人が暮らす「地域」という身近なところで顔の見える関係を築くことができれば、

その地域は何があっても協力し、より大きな力を発揮することができると思っています。

### 市民の皆さんへ

私は人口17万人の磐田市をひとつの「家族」だと思っています。

家族の幸せのため、子どもたちの将来のために、これからの4年間に、全力で取り組んでいきます。ぜひ、皆さんのお力をお貸しください。みんなで力を合わせて、より「暮らしやすい磐田市」を築いていきましょう。